

ロシア政府によるウクライナ侵攻に関する EAJ 声明

2022 年 5 月 12 日

日本工学アカデミー

ロシア政府によるウクライナへの侵攻は、世界の平和と安全を脅かし、人道、自由、民主主義という基本的な価値観に対する重大な危機をもたらすものであり、また一般市民を巻き込む非人道的な行為でもあり、深く憂慮する。

自国の主権と一体性への揺るぎないコミットメントを堅持し、自由と民主主義という価値観を守ることの重要性は強調し過ぎることはない。

欧米諸国の研究機関や学術団体からは、科学技術分野におけるロシアとの協力や交流を凍結・停止する旨が相次いで表明されているが、グローバルな協力を必要とする地球規模の課題が山積するとともに、世界の英知を結集して科学技術のフロンティアに挑戦することの重要性が高まっている状況の中、事態が一刻も早く収束し、科学コミュニティの連帯の機能を取り戻すことができるよう、日本工学アカデミーは働きかけていく。

日本工学アカデミーとしては、厳しい環境に置かれているウクライナの科学者や留学生に連帯の意を表すと共に強く支援する。また自由な言論や意見の表明が許されない状況にもかかわらず、戦争の即時停止を求める声明を発表するなど、勇気ある姿勢を取るロシアの科学者もいる。自らの意思に反して制裁の対象となったこれらのロシアの科学者に対して、連帯の意を表す。

人類の安寧とより良き生存に貢献することを目指す日本工学アカデミーとしては、国際社会の分断が修復され、科学技術が生み出す果実が世界の繁栄と安全・安心の確保のために利用されるべきことを再確認する。科学技術・イノベーションに携わるすべての者が自らの良心と倫理観に照らして、日々の活動において自律的に判断し、率先して行動することを期待する。